

国内における湿地管理者の育成及びCEPA (コミュニケーション・能力養成・教育・参 加・普及啓発)の取組みの共有

活動地域  日本全域

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

現地情報収集湿地数 **7** 湿地

研修会の開催 **0** 回

今年度計画の達成度 **60** %

目標達成度 **20** %



多くの人で賑う荒尾干潟水鳥・湿地センター

課題

湿地の保全と賢明な利用を推進するために、湿地管理者の能力養成が必要である。しかしながら、湿地管理者向けの研修や他の事例をまとめて情報収集する機会がほとんどない。

目標

研修会等を通して、湿地管理者の湿地の保全・賢明な利用、湿地の価値に対する理解が深まり、地域の湿地の価値を伝えられる人材が各湿地にいる状態にする。

活動内容と成果

- 湿地の価値、地域の取組みについて学ぶ研修会の試行プログラムの検討を行った。ただし、コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、実際に研修プログラムを実施することはできなかった
- 全国の52のラムサール条約登録湿地のうち、大沼(北海道)、佐潟・瓢湖(新潟県)、葛西海浜公園(東京都)、琵琶湖(滋賀県)、荒尾干潟(熊本県)、屋久島永田浜(鹿児島県)、計7か所に訪問し、湿地の現状の把握とCEPA事例収集を行った



水鳥で賑う「瓢湖」

苦勞した点と工夫した点

● 苦勞した点

当初の計画通りに活動を実施することができなかった点に苦勞した。

● 工夫した点

各湿地のCEPA情報の収集の際は、登録地の情報だけでなく、街、周辺の湿地についても一緒に情報を収集するよう心掛けた。



今後の
展望

湿地管理者向けの研修会の開催の際に、参加者の湿地のプレゼンテーションをしてもらうことで、各湿地の情報収集・情報共有を促進することが可能となるため、研修内容が充実するように、内容の検討を進めていきたい。

〒103-0011
東京都中央区日本橋大伝馬町
17-1 城野ビルII 2階
電話: 03-5614-2150
E-mail: info@wi-japan.org
HP: <https://japan.wetlands.org/ja/>

